

ややきれいな水(水質階級Ⅱ)の指標生物

コガタシマトビケラ類

頭の前縁に小さくほみがあるのが特徴で、頭と胸は赤茶色をしている。腹は鮮やかなうす緑色から緑がかかった茶色、あるいは茶色など、いろいろな色をしている。



コガタシマトビケラ類

オオシマトビケラ

頭から胸にかけて固く、うすい茶色である。他は茶色から緑色でやわらかく、頭の上部の平たい部分が広いのが特徴。

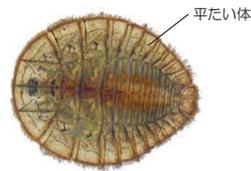
- まちがえやすい生物
- 他のシマトビケラ類とまちがえやすい。



オオシマトビケラ

ヒラタドロムシ類

体は固く、上下に平たい円形か卵形で、色は黄色か茶色。短い足は3対あるが、背の方からは見えない。流れの速い瀬の石の表面にぴったりとついている。

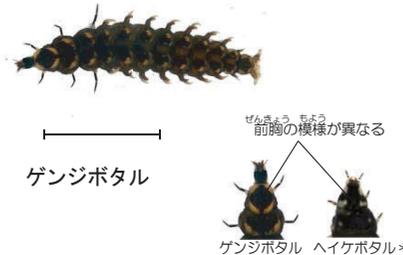


ヒラタドロムシ類

ゲンジボタル

体は黒色で、前胸に、トランプのダイヤの模様がある。

- まちがいがやすい生物
- ヘイケボタルはよく似ているが、ゲンジボタルの方が大きい。ヘイケボタルでは、前胸に十文字形の模様がある。

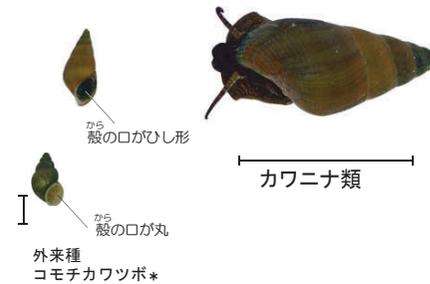


ゲンジボタル

ゲンジボタル ヘイケボタル*



コオニヤンマ



カワニナ類

外来種
コモチカワツボ*



外来種
タイワンシジミ*

ヤマトシジミ

線の長さは実物の大きさの目安です。

*のついている生物は、よく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。

コオニヤンマ

体は赤茶色で薄い平らな広葉状あるいはうちわ状の形をしている。触角の3番目の節がおおきくなり、うちわ形。流れの比較的遅いよどみの底で生活している。

カワニナ類

殻は細く、長い。殻の上部が欠けていることが多い(殻高1.5~3cm)。殻の表面は黄土色またはこげ茶色。石に付着していることもあるが、砂まじりの川底にいることもある。塩分のあるところにはいない。

ヤマトシジミ

二枚貝で、殻は小さいうちは青緑色だが、成長すると黒色になる。主に海水が少し混ざっている汽水域にすんでいる。

- まちがいがやすい生物
- マシジミなどとまちがえやすいが、マシジミは淡水にすんでいる。

イシマキガイ

殻は固く、石についている。主に海水が少し混ざっている汽水域にすんでいる。



イシマキガイ

出典：「川の生きものを調べよう」環境省・国土交通省編